

科目名	書道Ⅱ	単位数	2	学年	2	コース	全員	必修別	選択
教科書	書道Ⅱ（光村図書）			副教材					

1、学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

2、学習内容

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5 6 7	漢字の書の学習	〈篆書の古典〉 ・篆刻	篆書体について、その種類と特徴を理解する。 臨書を通して基本用筆を学ぶ。 自分の氏名の篆書体を調べて書く。 印の歴史と用途を理解する。 姓名印を制作する。 文字の画数や形などバランスを考えてデザインする。 白文・朱文の彫り方を決める。 彫り方の練習をして印を刻す。 印泥の扱い方を覚えて、丁寧に押印する。	ノート（関） 試書（関） （構工） ワークシート （関）（鑑） ノート（関） 試書（構工） 作品（技）
9 10 11 12		〈行書の古典〉 ・三筆、空海 〈草書の古典〉 ・書譜 ・連綿草 〈漢字の創作〉	日本の書空海について学ぶ。 用筆法・運筆法を学び、画仙紙に清書し氏名印を押印する。 草書の特徴を理解し、用筆・運筆を学ぶ。 草書の古典の臨書学習により、表現の幅を広げる。 漢詩を選び、行草体で構成や表現方法を工夫して画仙紙に創作する。落款の書き方を学び、押印して仕上げる。 自他の作品を鑑賞する。	ノート（関） 試書（関） （構工） 作品（技） ノート（関） 試書（構工） 作品（技） 制作カード （構工） 試書（関） 作品（技） ノート（鑑）

1	仮名の書の学習	<p>〈仮名の古典〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三色紙 ・三跡 ・散らし書き ・百人一首の創作 	<p>三色紙を鑑賞し、散らし書きの美について理解する。</p> <p>三色紙のうちの一つを選び、臨書する。</p> <p>変体かなの読み方も確認する。</p> <p>臨書を通して理解できた連綿のリズム、墨の潤濁の変化余白の美しさを味わい、創作に生かす。</p>	<p>ノート (関)</p> <p>試書 (関)</p> <p>(技)</p> <p>作品 (技)</p> <p>(構工)</p> <p>(鑑)</p>
2	刻字作品の制作	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の選定 ・字書の活用 ・表現の工夫 	<p>内容・仕上がりともに部屋に飾れる作品を目指す。</p> <p>題材になる言葉を決め、表現方法を工夫する。</p>	<p>制作カード</p> <p>(関) (構工)</p> <p>試書 (関)</p> <p>(構工)</p>
3			<p>字書により字形の取り方の参考ににする。</p> <p>筆で書いた感じが出るように効果的な彫り方を工夫する。</p> <p>丁寧に着色して仕上げる。</p> <p>自他の作品を鑑賞する。</p>	<p>(技)</p> <p>作品 (技)</p> <p>鑑賞カード</p> <p>(関)</p> <p>(鑑)</p>

3、評価の観点

書への関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。
書表現の構想と工夫	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
創造的な書表現の技能	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけて表している。
鑑賞の能力	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。

4、評価の方法

書への関心・意欲・態度、書表現の構想と工夫、創造的な書表現の技能、鑑賞の能力の4観点から総合的に評価する。

5、担当者からのメッセージ

忘れ物をせず、道具を丁寧に扱うこと。授業ごとのポイントをよく理解して、前向きに取り組んでください。欠席が続かないように注意すること。